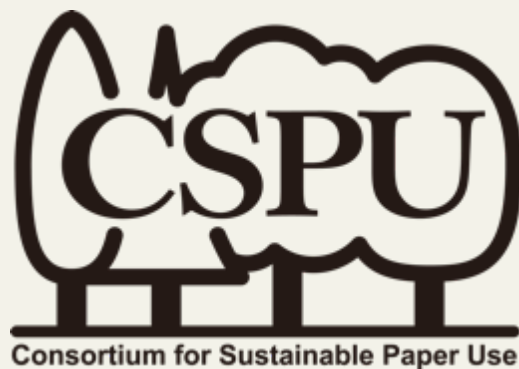


# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」



2016年7月8日（金）  
味の素株式会社 杉本信幸  
三井住友信託銀行株式会社 後藤文昭

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」

## 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

2013年11月

環境や社会に配慮した紙の利用を社会全体で推進するため、企業5社（味の素株式会社、キリンホールディングス株式会社、JSR株式会社、ソニー株式会社、三井住友信託銀行株式会社）と株式会社レスポンスアビリティ（運営アドバイザー）、WWFジャパンが「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム」を立ち上げ。

2014年6月

カシオ計算機株式会社と株式会社ニコンの2社が新たに参画。

2016年3月

花王株式会社が参画し、計10の企業・団体による取り組みに

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」

## 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

■背景 （→セッション1発表1で紹介）

■目的

紙を生産・供給する側だけでなく、紙を利用する側も含めた社会全体でこの問題を認知し、適切な紙利用を推進すること

■本コンソーシアムの紙利用に関する基本的な考え方

- ・信頼できる認証制度や再生紙を優先的に利用すること
- ・保護価値の高い地域を破壊していないこと
- ・伐採にあたって原木生産地の法令を守り、適切な手続きで生産されたものであること
- ・重大な環境・社会的問題に関わる事業者の製品ではないこと

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」

## 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

### ■ 参画の要件

本コンソーシアムの紙利用に対する基本的な考え方に賛同し、責任ある調達方針を策定した、もしくはその予定の企業・団体。

### ■ 具体的な活動

持続可能な紙の利用を進めるための情報提供  
情報発信や普及啓発活動  
メンバー間での定期的な情報共有  
サプライヤーや取引先への取組みの拡大など

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

## 具体的な活動

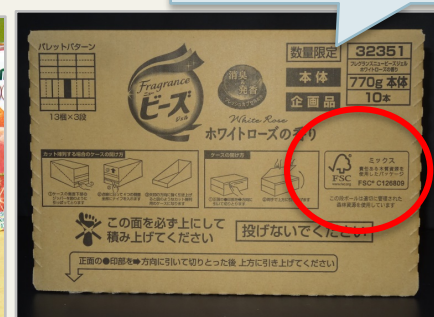
- ・ サプライチェーンへの調達アンケート
- ・ 生産現場訪問→CSPUメンバー、JBIB等で情報共有
- ・ 関連業界団体のセミナーにてCSPUや取り組みを紹介
- ・ 取引先、グループ企業への取り組み深化
- ・ 対外コミュニケーション（セミナー、環境報告書など）
- ・ 製品パッケージ、梱包材、印刷物等へのFSCラベル



現地視察、関連業界団体でのセミナー



パッケージ・包材へのFSC採用



# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

■ 製紙・供給企業とのダイアログ（2014年～2015年）  
紙の生産、供給に関わる企業をコンソーシアムに1社ずつ招いて実施

＜ダイアログ実施の背景＞  
コンソーシアム参画企業が取り組みのなかで感じる課題に「サプライヤーとのコミュニケーション」「森林認証紙の入手可能性」などが上がる。

＜ダイアログ実施の目的＞

- ・ 製紙・供給企業の取り組み、森林認証紙の供給、入手可能性について理解する
- ・ サプライチェーンの企業にCSPUの意図を伝える

→自社の調達方針の運用に役立てる

→サプライチェーンの企業への「持続可能な紙利用」への理解を浸透

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」

## 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

### ■ ダイアログ協力企業

#### <製紙>

王子グリーンリソース株式会社 企画管理部 兼 植林事業部

日本製紙株式会社 CSR部、原材料本部

三菱製紙株式会社 社長室、洋紙事業部

#### <オフィス用品サプライヤー>

株式会社リコー 環境推進本部、社会貢献部、コピー用紙販売部門

富士ゼロックス株式会社 総務部環境経営、中央営業事業部、用紙調達部門

アスクル株式会社 CSR部、PB開発部、OAPC事業本部

#### <印刷>

大日本印刷株式会社 CSR本部、環境安全部、購買本部

凸版印刷株式会社、 エコロジーセンター、生活環境事業部

# 「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム（CSPU）」とは？ 2020年までに持続可能な紙利用を目指す、企業とNGOの協働

---

## ■ 製紙メーカー・販売会社とのダイアログ

### <主な質疑内容>

- ・ 国内での認証紙の供給状況
- ・ 認証紙が飛躍的に伸びない理由
- ・ 認証紙の製造コスト
- ・ どのような場合に認証紙が調達可能か
- ・ 認証紙が調達できない場合の持続可能性確認方法
- ・ サプライヤーからの製品情報の発信の仕組みや内容
- ・ 本コンソーシアムへの要望や期待等



ご静聴ありがとうございました

